

## お互いに理解することが大切

私たちは毎日の生活の中で「一人一人の人権を尊重しよう」「人権侵害を許さない」「子どもの人権を守ろう」など、「人権」という言葉を目にしたたり、聞いたことがあると思います。しかし、普段は人権について考える機会も少なく、守られていることが当たり前だと思いがちですが、身近な社会には、いじめ・児童虐待・パワハラ・セクハラなど、人権を踏みとじるさまざまな行為が存在しています。これらを無くしていくためには、映画や講演会などの機会を通じて数多くの人権問題に触れ、私たち一人一人が人権意識を高めることが大切です。

“人権”について考えること。それはとても難しいことのように思えますが、意外と簡単なことだと思います。

弱者をいたわり手助けすることは、人として当然であり、必要なことです。しかし、相手の気持ちや状況を考えず、ただ一方的に押し付けるだけの親切は、ただの自己満足で

しかありません。見えない人には見えない人なりのやり方や考え方があるのに、そこに寄り添うための理解がないとすれば、それは人権を侵害していると言えるのではないのでしょうか。

人は皆、平等です。しかし周囲の環境や年齢、身体能力などは同じではありません。だからこそ、自分と他人の違いを認めて受け入れ、私たちが無意識のうちに作り出している優劣の壁を取り払い、自分の価値観を人に押し付けず、自分も相手も同じ一人の人間なのだ、その人の心に寄り添い理解しあう努力こそ、人権を守る大きな力になるのではないのでしょうか。

このような心は、自分たちの将来に明るい希望が持てたときに育つのだと思います。若い人たちが自分たちの未来に希望を持てる国・希望を持てるまちであってほしいと願っています。

人権機関有田川 水野哲男

## インターネットと人権

インターネットは多くの情報を容易に集めることができるほか、自分の意見を自由に発信したり世界中の人と交流したりできるなど、私たちの生活を便利で豊かなものにしてきています。

しかし使い方を誤ると、人の心を傷つけてしまう凶器にもなります。インターネットの特性や使い方についての知識やモラルを身に付け、加害者にも被害者にもならないような次のような点に留意しましょう。

- ① 他人の悪口や差別的な書き込みはしない
- ② 嘘や根拠のないうわさ話を書き込まない
- ③ 人が写っている写真や個人情報を勝手に載せない

## インターネット上の

### 人権侵害

匿名性 匿名であるが故に自由に意見を発信できる一方、内容が悪質なものになりやすい。

### 拡散性

発信した情報は、瞬く間に大勢の人に伝えることができるほか、間違った情報や悪意のある情報も簡単に拡散される。

### 被害回復の困難性

間違った情報や悪意のある情報を削除しようとしても、発信者やサイトの管理者が特定できなかつたりコピーや転載がされていたりして困難なケースが多い。

## お知らせ

### 人権映画会上映中止のお詫び

平素は人権機関有田川の活動にご理解、ご参加いただきありがとうございます。2月16日(日)上映予定だった「湯を沸かすほどの熱い愛」、3月15日(日)上映予定だった「星に語りて」について、新型コロナウイルスの予防のため中止させていただきます。

映画を楽しむにしてください。皆さま、また会場にお越しいただいた皆さまに深くおわび申し上げます。

### 人権に関する問い合わせ

有田川町教育委員会 社会教育課  
電話 22・4513  
ファクス 32・4827